

2018年12月13日（木）

## 「第6回 スピーチコンテスト」

本日、サンライズホールにて「第6回スピーチコンテスト」を行いました。スピーチコンテストでは、11月に行われたクラス予選で代表に選ばれた各学年3名（A組から1名、B組から1名、CDE組から1名）が全校児童の前でスピーチを行い、表現面と内容面で審査員の先生が評価をしていきます。今年は、1・2年生のテーマが「わたしのたからもの」、3・4年生のテーマが「わたしのほしいもの」、5・6年生のテーマが「日本の大使になろう～2020大会に向けて日本のよさを伝える～」でした。誰かからもらった「たからもの」、家で飼っている「たからもの」、身近にいる家族と言う「たからもの」について嬉しそうに話す1・2年生の姿。実際に販売されている「もの」、想像上の「もの」、お金では買うことのできない「もの」についてほしい理由も含めて分かりやすく説明する3・4年生の姿。東京都・山梨県・高知県・横浜市のそれぞれの特色と話し手が特に魅力を感じることにについて聞き手に問いかけたり、呼びかけたりしながら力をこめて話をする5・6年生の姿。クラスの代表に選ばれてからも本番に向けて練習を重ねてきた子どもたちは、原稿を暗記したり、動きを付けて話をしたりと、友だち・審査員の先生方に思いが伝わるように一生懸命スピーチをしていました。どの子も始まるまでは緊張した様子でしたが、舞台上に上がり堂々と落ち着いて話をしている姿は本当に立派でした。

また、スピーチコンテストの審査会議中には、昨年に引き続き小学生のグループプレゼンテーション大会の報告会を行いました。実際の大会の映像を見ながら説明を聞くことで、プレゼンテーションとはどのようなものであるかを知ることのできる時間となったようです。

今年のスピーチコンテストは終了しましたが、これからも、みんなの前で自分の思いを分かりやすく伝えることを心がけ、話すことを楽しんでほしいと思います。

